



『LIP. 横浜』に協力機関として参画します！



このたび、公益財団法人横浜市スポーツ協会及び横浜市スポーツ医科学センターは、横浜市が推進する健康・医療分野における産学官金連携のプラットフォーム「LIP. 横浜[※]」の協力機関として参画いたしました。

スポーツ協会では、LIP. 横浜に参画する企業・団体等との情報共有や連携を行い、これまで取り組んできた地域における生涯スポーツの振興や競技スポーツを通じた市民の健康づくり、健康経営の推進等に一層寄与してまいります。また、スポーツ医科学センター（指定管理者：公益財団法人横浜市スポーツ協会）では、スポーツを通じての疾病やけがの予防、治療やリハビリテーションなどスポーツ医科学に基づいた市民の健康づくりや競技力向上の支援を通じて培ってきた知見やノウハウ等を活用し、新たなプロジェクトへの展開等を推進します。

■ 参画日 令和2年7月1日

※LIP. 横浜とは

横浜から健康・医療分野のイノベーションを持続的に創出していくことを目的とし、横浜市が産学官金と連携して取り組むためのプラットフォーム（「横浜ライフイノベーションプラットフォーム」）で、令和2年7月7日現在で、296社・団体が参画しています。このプラットフォームは、企業・大学・研究機関ネットワークから革新的なプロジェクトを生み出すとともに、中小・ベンチャー企業等に対する製品化に向けた支援を行い、新技術・新製品の開発を促進していくものです。

協力機関は、会員のうち、産学官金の連携により横浜から健康・医療分野の新たな技術・製品を創出するLIP. 横浜の取組趣旨に賛同し、その実現に向け、自身のもつ知識やノウハウを提供するなどLIP. 横浜の推進に協力できる機関に対して、横浜市から協力機関としての参画を依頼するものです。

◎LIP. 横浜トライアル助成事業に採択されました。

健康・医療分野の研究成果やアイデアを具体化するための試作品開発・データ等の取得に活用できる「2020年度LIP. 横浜トライアル助成金」に、当協会職員で横浜市スポーツ医科学センターリハビリテーション科の理学療法士の提案が、助成金交付対象事業として採択されました。

本採択により、健康の自己管理やコンディション向上の取り組みを一層推進してまいります。

【申請事業】

事業名	「健康スポーツ活動」をサポートする『カラダコンディショニングアプリ（仮称）』の開発				
事業内容	スポーツにおけるケガ予防やパフォーマンス向上のため、コンディションをセルフチェックし、チーム単位で管理できるアプリを開発し、大学の運動部で実証を行う。				
申請者	公益財団法人横浜市スポーツ協会 （横浜市スポーツ医科学センター リハビリテーション科）	共同研究先	桐蔭横浜大学	助成予定額	909千円

お問合せ先

（協力機関について）	横浜市スポーツ医科学センター	企画運営課長	谷 慎也	TEL 477-5050
（協力機関について）	（公財）横浜市スポーツ協会	経営企画部担当課長	青井 純子	TEL 640-0016
（LIP.横浜トライアル事業について）	横浜市スポーツ医科学センター	リハビリテーション科長	鈴川 仁人	TEL 477-5065